

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 広瀬アルバム（東京天文台 100 周年記念誌資料 2-29-2）に情報が寄せられる**

アーカイブ新聞第 863 号（2015 年 11 月 10 日）に「広瀬アルバム（その 2、写真 16 枚）（東京天文台 100 周年記念誌資料 2-29-2）」という記事を書いた。この号に掲載した写真 6 について、旧知の野地氏から情報をいただいた。



写真 6

写真 6 の前列右端写っているのは村山定男、後列左端は富田弘一郎氏と思われる。前列中央は神田茂氏と古在先生から連絡があった。

という記事であった。この記事写真について「写真 6 日金山 とある写真ですが、これは日本天文研究会のハイキング風景だそうです。」と野地氏から連絡をいただいた。しかし、筆者はこの記事に「日金山」ということはどこにも書いていない。野地氏が日本天文研究会の古老から日金山へのハイキングと聞かれたのであろう。

野地氏から、この他、写真に写っている人物の名前などの情報が寄せられた。神田茂氏は湯河原在住で日本天文研究会を立ち上げた方であること、村山定男氏だけがスーツ姿であることから、村山定男氏が昭和 21 年 11 月に東京科学博物館に非常勤で勤務を始めたお祝いのハイキングではなかったかと思われること、人物の名前では神田茂氏の後ろの女性は「小田幸子さん」、村山定男氏の後ろの女性は「小山ひさ子さん？」ということである。小田幸子さんは存じ上げないが、小山ひさ子さんは長らく村山定男氏と国立科学博物館でご一緒だった人である。

野地氏は写真に写っている人の同定は、年月の経過とともに難しくなるので、わかった時点で確実に押さえておく必要があると書かれていた。もっともである。最近は個人情報保護とやらでこういったことがだんだん難しくなっている。

野地氏はこの写真撮影の際、別角度から撮影した写真を提供してくれた(写真 1)。



写真 1

このように、アーカイブ新聞に情報が寄せられ、より正確な情報として発信できることはうれしいことである。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp